

丸の内プラチナ大学「逆参勤交代」 壱岐研修旅行記（2019.9.27～29）

2019年7月に丸の内プラチナ大学の「逆参勤交代コース」に入学した。この大学は三菱総合研究所と三菱地所が主催する市民大学である。逆参勤交代コースは地方創生と働き方改革の両立を提唱する松田智生氏（三菱総研主幹）の主導する講座だ。

このコースは、東京周辺で働く社会人が地方を訪れ、少子高齢化に悩む地方の創生のアイデアを提案するのが目的だ。今回長崎県壱岐市を訪問した。以下はその研修旅行記である。

9/27（金）

9：45に博多港に集合10：30発ジェットfoilで壱岐島に向かった。65分で芦辺港に着いた。天気は良好で少し暑い陽気であった。到着後壱岐市役所関係者と挨拶し、「焼肉のうめしま」でランチした。

13：00 小島神社を訪問した。フランスのモンサンミッシェルと同じく、潮が満ちると神社までの沿道が海に沈む。鳥居の半分が海に沈むそうだ。なお壱岐島には1000を超える神社が点在しており、「神々の島」とも呼ばれている。（写真参照）



13:45に壱岐テレワークセンターにて壱岐市の概要と旅行工程の説明を受けた。白川壱岐市長からは地方の課題と今後の展望について熱のある挨拶を頂いた。（写真参照）

15:45に地域活性化グループと意見交換し、空き家の再利用プロジェクトの現場である「たちまち」を訪問した。そこは首都圏から壱岐に移住し、古民家を地域住民の協力を得てカフェや宿泊所や賃貸アパートにした事例であった。

18:00 宿泊地のマリーナホテルに到着し、寿司割烹の「魚よし」で懇親会を開いた。内閣府と長崎県庁の地方再生関係者も参加頂いた。（写真参照）

9/28 (土)

8:00 ホテルから徒歩 15 分の「かもめ食堂」に行った。ここはbuffeスタイルで壱岐名物のいか天が美味だった。朝食代は 700 円で非常にリーズナブルであった。

9:30 から壱岐市立一支国博物館を見学した。この施設は 2010 年黒川紀章の設計で、博物館はCG、映画、模型を活用して



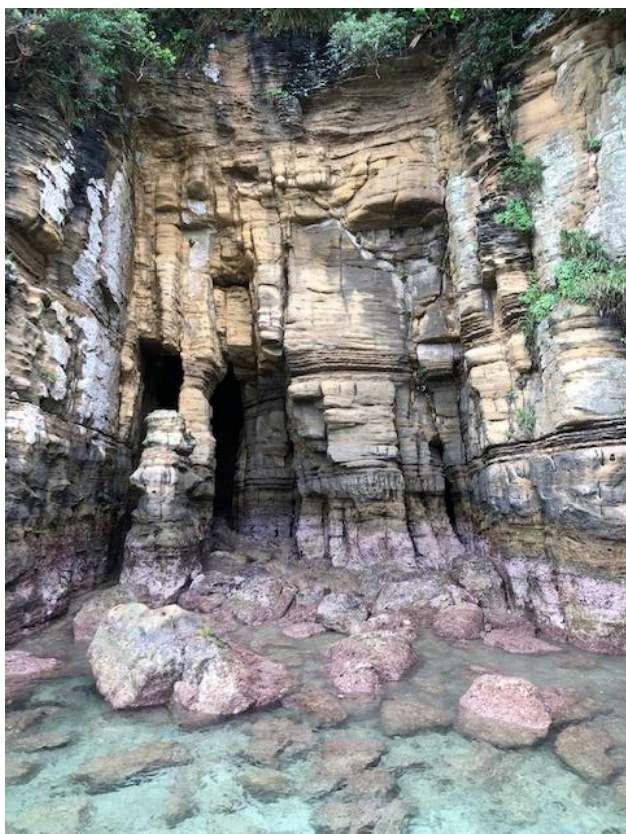
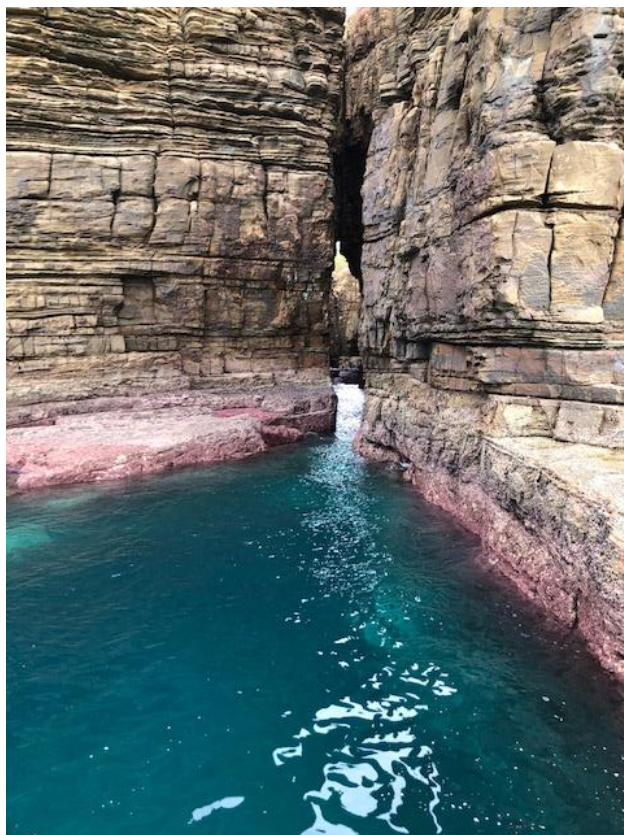
解かりやすく楽しい展示であった。辻の原遺跡などから発掘された石器、石墓、土器、装身具なども展示されていた。なお発掘は現在も続いている。この博物館は丘の上に建てられているが、周囲の自然と調和しており、辻の原の眺めも絶景であった。(写真参照)

魏志倭人伝に「壱岐には三千の家があり、やや田地があるが、農耕しても食料は不足しており交易で暮らしている」と記載されていた。因みに「対馬も人口は 1000 家あるが急峻な山々で、農耕に不向きであると」記載されている。三国志の時代に日本の国の中で、王都が特定できるのは一支国だけだ。一支国と書いて「いき国」と読む。

12:00 「一富士」にてランチ。



13:30 勝本港から玄界灘の宝石と呼ばれる「辰の島クルーズ」を体験した。地中海で見た「青の洞窟」に匹敵するような景観で感動した。(写真参照)



14：40 イルカパークを視察。ここは20年近く市営であったが、経営難となり民間人の海洋学者でもある高田佳岳氏に委託して、2019/4から経営をしている。このパークの凄さはイルカの調教方法が独創的で幼児教育にも生かされる可能性を秘めたものだった。イルカと自然に囲まれた敷地でバーベキューパーティを開いた。（写真参照）

9/29(日)

9：10 介護人材育成の医療専門学校を視察。校長の講義は素晴らしかった。

10：30 から「地域活性化シート作成し市役所に提出した。

13:00 壱岐市長他幹部向けに受講生から地域活性化プランが発表



された。神主お坊さん観光ガイド、滞在型研修、育休男子支援、神の島千社デジタル化、壱岐4町を繋ぐ関所設置などのアイデアが出された。以下は私の提案である。

What 何をするか OOプロジェクト	イキイキセ・カンドホーム・プロジェクト (参考) MM2H (マイ・マレーシア・セカンド・ホーム) 中高年の中期滞在を促進するもの
Why なぜするか	シニアは本来老後を面白く楽しく生きたい願望がある
Who 私はなにを担うか	広報宣伝
Whom 誰を対象に	家族、知人、仲間を通じてシニア世代に広める
How どのように実現するか	FBとHPに掲載 セミナー講師、パネラー参加など伝道師になる
キャッチコピーと解説	II2H (イキイキセカンドホームと読む) 壱岐のキラコンテンツは以下の3つ ① 壱岐市立一支国博物館は、ルーブルや兵馬俑に匹敵 ② 辰ノ島の海は、地中海の青の洞窟に匹敵 ③ イルカパークの試みは凄い

壱岐市は自然と歴史遺産など素晴らしいコンテンツが多く、中高年のセカンドホームとして十分な条件を備えている。散策、釣り、ゴルフなども楽しめる。

15：15 壱岐最大の麦焼酎生産会社である「玄海酒造」視察。

17：10 ジェットfoilで郷ノ浦港から博多へ帰る。

(2019. 10. 5 記す)

